

目	次
恒例の納涼会で大野会長挨拶…………… 1	事務局レポート 理事会議事録他…………… 6
成形加工学会'11年次大会を聴講して(四季)… 3	暑中広告…………… 8
会員業況アンケート調査結果〈全国版〉… 4	

## 恒例の納涼会で大野会長挨拶



【納涼会で挨拶する大野会長】

平成23年7月14日(木)、八重洲富士屋ホテルに於いて、第315回の理事会終了後、17時から、同ホテル3階「紅葉の間」に会場を移し、先輩役員お二方(白石伊喜夫相談役並びに森田 章相談役)をお招きし、会長以下役員総勢27名が参加し、恒例の納涼会を開催しました。

最初に、5月の通常総会で会長に就任した大野

会長より以下の挨拶を戴きました。

「先程、皆様の協力を賜りスムーズに理事会が終了し、心より御礼申し上げます。

東日本大震災から4ヶ月が経ちました。しかし、被災地はなお厳しい状況が続いております。思うに日本経済は3つの制約を抱えているようです。

一つ目が列島に広がる電力不足への懸念です。新聞によると、すべての原発が運転を再開しない場合、日本経済は年7.2兆円の経済損失が生じるそうです。それだけでなく円高や高い法人税率を背景に進む「産業の空洞化」を加速しかねない、それが心配です。

二つ目が海外経済の変調です。アメリカ景気のもたつきやドルのデフォルト懸念。中国ではインフレが止まらず、さらに欧州とりわけギリシャの財政不安。中東・北アフリカの政情不安等です。

三つ目が迷走を続ける日本の政治です。“政治リスク”とまで言われています。首相の「居座り」と復興対策を盛り込む第三次補正予算案が秋にズ



レ込んでしまうことです。

以上三つの制約を乗り越えて、是非、元気な日本に導いてもらいたいと切望しています。

製造業ベースで見ると売上、収益面ともに3～5月期は良い数字が出ておりません。反面、関西や都内のホテルの稼働率は着実にアップし、また、小売業の6～8月期は百貨店・専門店・スーパー・コンビニのすべてで増収予想が出ております。

さらに大きな原動力は、自動車部品のサプライチェーン復旧にともなう自動車の生産や輸出の持ち直しです。明るい話題だと思います。

もっとも明るい話題は、なでしこジャパンがW杯の決勝戦で、今まで一度も勝てなかった米国にPK戦ではありましたが勝利したことです。日本中が興奮し、米国も含め世界中が驚き且つ祝福してくれた最高の明るい話題でした。

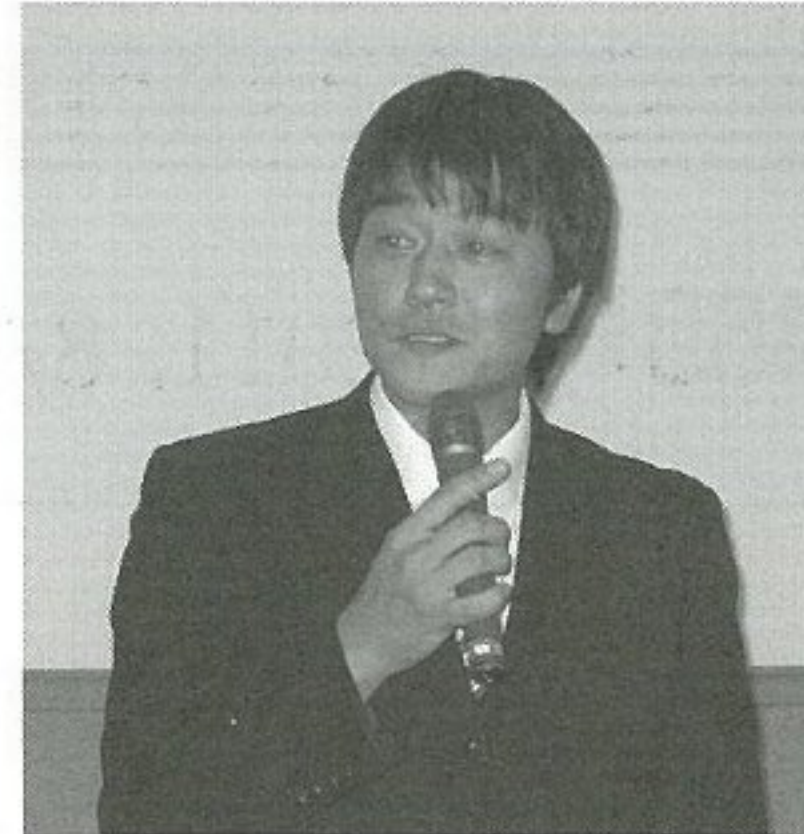
長々とお話をしましたが、本日は納涼会です。日頃のお仕事は忘れて、ゆっくりくつろいでいただき意見交換をしてもらえれば幸いです。」

続いて、大塚副会長の元気良い音頭で、乾杯し情報交換に入りました。



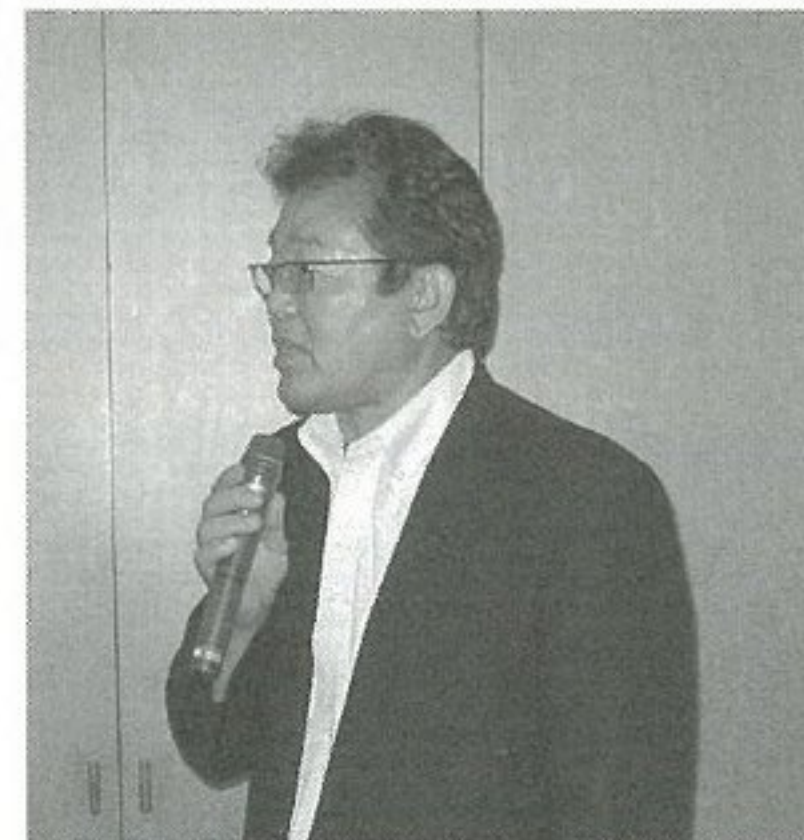
【乾杯の発声・大塚副会長】

新潟県プラスチック工業振興会からは岡村副会長が参加、6月に開催された同振興会総会で新執行部が選出されそのメンバーを紹介、震災の影響を受けつつも各社工夫して頑張っている旨の挨拶を戴いた。



【岡村新潟県プラ振興会副会長】

最後に、佐藤副会長の中締め挨拶があり、“なにわのカリスマ添乗員”の講演を披露、普段からお客、従業員さらに家族に対するニーズによく目配りをしておくことが重要との事でした。



【中締め・佐藤副会長】

☆今夏の電力需要見通し（経産省発表7/20現在）

(単位：万kw)

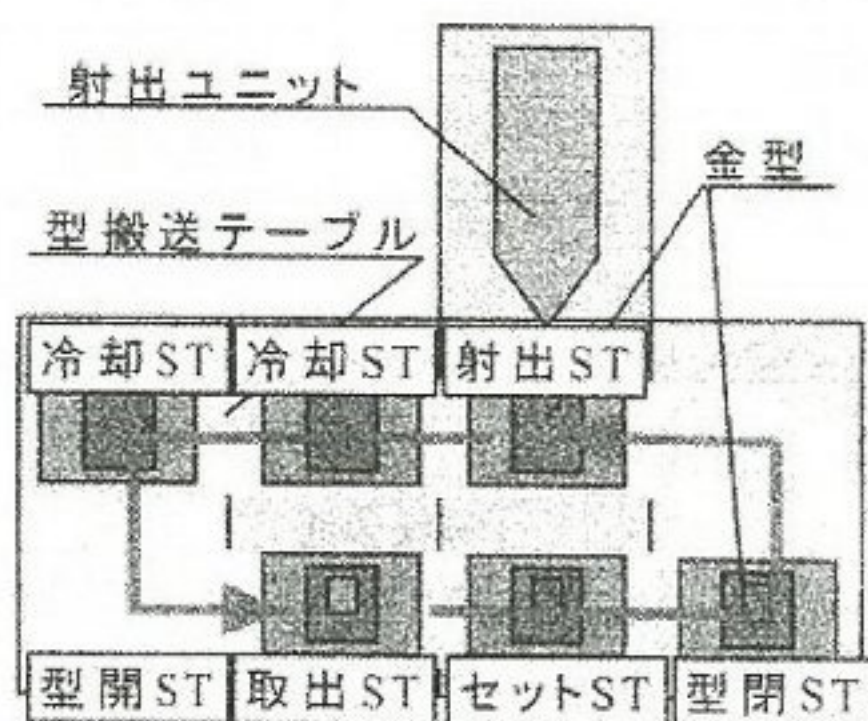
	北海道電力	東北電力	東京電力	中部電力	関西電力	北陸, 中国 四国3電力	九州電力	東日本3社 合計	西日本5社 合計
昨年最大電力需要	506	1,480	6,000	2,709	3,138	2,371	1,750	7,986	7,259
対策後最大供給力	549	1,382	5,470	2,797	2,943	2,440	1,786	7,401	7,168
予備力	43	▲ 98	▲ 530	87	▲ 195	69	36	▲ 585	▲ 90
予備率 (%)	8.5	▲ 6.6	▲ 8.8	3.2	▲ 6.2	2.9	2.1	▲ 7.3	▲ 1.2



## 成形加工学会'11年次大会を聴講して (四季)

第22回プラスチック成形加工学会の年次大会が6月22日、23日の2日間にわたって江戸川区のタワーホール船堀を会場として開催された。今大会は、東日本大震災後の開催であり参加者は少ないだろうと予想していたが、予想に反して過去最高の参加者数であった。過去の大会では2004年の870名強が最高であったが、今回はそれを上回る880名強であろうとのことであった。今大会の特別セッションでは医用・健康、高断熱、加飾など興味深いテーマも加えられたこともあるが、やはり自動車、携帯端末、電子電機、精密機器などの製品にとってプラスチックは必要不可欠な機能素材であるため成形加工技術への関心は高まっていると感じた。学会発表であるのでアカデミックな内容は多いが、成形加工における技術開発方向を示すものとして、本学会賞である「青木固」技術賞を受賞された3つのテーマについてその概要を次に紹介する。

(株)デンソーは「自己クランプ型と工程分割によるインサート成形のハイサイクル化」で受賞された。労務費の安い中国など海外生産に対抗して国内で生産するためには生産性の向上と、より一層のコストダウンが求められている。自動車部品では工程内在庫レスを実現するために部品組み立てに同期した成形速度が求められる。これに応えるべく、成形工程を分割し、工程毎に金型を移動させながらインサート成形する型搬送式射出成形システムを、一個取りで5秒サイクル成形を目標に技術開発を進めた。



型搬送式成形機 (成形加工'11 予稿集 p.7)

本技術は図に示すように金型を成形機上に6個搭載し、インサートセットST、型締ST、射出保圧ST、冷却ST、インジェクタ取り出しSTの順に5秒毎に金型が移動する方式である。ハイ

サイクル化にはインサートセットから成形品取り出しまでの各工程を高速化する必要がある、特に型搬送速度を高速化するために金型を小型軽量化する必要がある。そのため、バネや油圧による型締め機構に代わり、クサビ機構を用いた自己クランプ方式を開発した。また、同方式では金型温調用の加熱冷却配管を連結することはできないので、詳細説明はなかったが特殊なヒートパイプ加熱方式を採用したとの説明があった。同社では、本成形システムをセンサ製造ラインに採用し、現在5秒サイクルで生産している。

三菱電機(株)は「使用済み家電回収プラスチックの高純度選別・再生素材化技術」で受賞された。開発技術は、破碎混合プラスチックの比重選別、ゴム・エラストマー系異物除去、静電選別、R o H S 指令対象物質除去のための高純度選別および微小異物除去、プラスチック改質再生技術などからなる再生素材化技術である。特に注目すべき技術開発のポイントは次の点である。

- ① P S と A B S のように比重がほぼ同じ樹脂の選別には、破碎プラスチックを摩擦で静電気を帯電させた後に電界中に投入し、帯電状態の違いによる静電選別法を採用した
- ② R o H S 指令対象物質はX線透過を用いたライン検査方式を開発し、検出処理速度を従来の蛍光X線法の100倍以上に高速化した。

徳山積水工業(株)、積水化学工業(株)、京都大学は「発泡成形のための熱膨張マイクロカプセルの開発」で受賞された。P P、P V C、A B S などの180~220℃の成形温度に耐える新規な熱膨張マイクロカプセルを開発した。熱膨張マイクロカプセルは、発泡剤をマイクロカプセルの中に内包したものであり、これを樹脂に混ぜて射出成形や押出成形をすると、溶融温度においてカプセル内の発泡剤が膨張することによって発泡成形品が得られる。従来の化学発泡法に比較するとスワールマークの発生が少ないこと、均一な発泡成形品が得られることなどの利点がある。しかし、このような熱膨張マイクロカプセルを使用できるのは、これまで比較的低温で成形でき、かつ流動性のよい材料に限られていた。そのため、カプセル用樹脂の粘性弾性特性、ガスバリアー性などを改質することによって、上述の比較的高温成形に耐える熱膨張マイクロカプセルの開発に成功した。

(案山子)



## 《平成23年4月～6月会員景況感調査報告（全国版）》

総回答数 271社

## 1. 地域別内訳（事業の中心をおいている地域）

東日本	77社	神奈川県	38社	中部日本	48社	西日本	108社
-----	-----	------	-----	------	-----	-----	------

## 2. 売上（または取扱）商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	34社	包装用容器・キャップ	44社	電気・電子・通信部品	64社
自動車・輸送機器部品	79社	住宅関連	7社	医療機器	8社
その他	33社				

## 3. 従業員数の内訳（パートを含む）

20人未満	74社	21～50人	66社	51～100人	60社	101～300人	40社
301人以上	18社						

## 4. 今期（平成23年4月～6月）の自社業況について（前期比・前年同期比 %）

【※3ヶ月前比率/今回比率】

	平成23年4月～6月(実績)					
	前期(23年1月～3月)比			前年同期(22年4月～6月)比		
	1.増加	2.横這	3.減少	1.増加	2.横這	3.減少
1) 生産・売上高	18.8/29.5	26.9	44.9/42.1	30.9/26.9	19.9	38.7/48.7
2) 製品単価	2.7/4.8	76.8	24.2/17.0	7.0/7.4	62.0	29.7/26.2
3) 採算	10.5/12.9	36.9	44.5/47.6	17.2/12.5	32.5	43.0/50.0
4) 所定外労働時間	13.3/18.5	42.4	33.2/37.6	19.9/18.5	39.1	32.0/38.4
5) 製品在庫	16.0/20.3	53.1	28.5/24.4	17.6/23.2	46.5	29.3/25.5
6) 材料原料単価	60.9/62.0	35.4	0.4/0.7	71.9/72.3	22.5	0.4/0.7
7) 総合判断	12.1/12.9	42.4	46.1/43.2	17.6/15.1	32.1	42.2/47.6
8) 23/7-9の見通し	9.4/29.5	43.5	55.5/20.3			

## 5. 当面の経営上の問題（%）

1. 受注不振	2. 売上不振	3. 輸出不振	4. 製品単価安	5. 取引条件悪化	6. 過当競争
32.5	53.1/40.6	3.0	39.8/37.3	5.5	14.0
7. 輸入品との競合	8. 流通経費増大	9. 原材料高	10. 借入負担増	11. 貸し渋り	12. 人件費高
8.9	5.5	66.4/55.0	8.1	2.6	12.2
13. 技能者不足	14. 技術力不足	15. マーケティング力不足	16. 設備過剰	17. 法的規制	18. 為替問題
16.0/14.4	10.0	4.1	4.1	0.7	4.7/6.6
19. 環境問題	20. 人材育成	21. 研究開発	22. その他		
2.6	23.4/23.6	3.3	3.7		



## 6. 皆様のご意見、ご要望

- 材料値上げが今年に入り2回あった。電力の事もあり生産状況は厳しくなっている。
- 8月からは良くなりそう。
- 節電に限界あり。従業員への安全配慮義務からクリーンルームの空調温度調整が最大の課題。手を尽くしているが納期遅延、売上減、信用喪失等連鎖を恐れる。電力制約を解決しないと国内モノづくりはダメになる。
- 企業は個人消費の上に成り立っている。秋口からの震災復興のムードを盛り上げ、産業界全体に働きかけて欲しい。あらゆる観点で、防災、エコ、省エネ、付加価値のついた商品を押し出すチャンスでもある。特に放送、マスコミへプラス面のニュースをさらに発信するよう要望したい。
- 受注増による生産対応にあり、電力制約のためのコスト増が見込まれ収益改善がカギである。
- 震災に影響で、4-5月上旬まで納品が出来ない状況でした。売上は前年比50%しかなかった。
- 15%の節電が厳しい、電力不足。
- 材料メーカーのヤミ協定を提訴すべき。一部の大手材料メーカーがいい思いをする様ではいけないと思う。
- 付加価値の高い製品が海外へシフトしている事、過当競争により価格が安くなり、利益率が低い製品割合が多くなってきた。従来と同じ量を受注しても売り上げが届かないため、より多くの受注が必要、したがって経費が余分に発生している。
- 海外向けの受注が多く、コストダウンの要求多し。同時に、受注も減少傾向にあると予測。先行きの見通しは油断できず。
- 新人の入社希望が少ない。
- 東日本大震災で多少、震災特需のような品物の流れがあったが、ここへきて落ち着いて来たようだ。今後の電力事情、原材料価格が気掛かりです。
- 震災、原発の影響で中国向け輸出がキャンセルになり、7月から多少出荷可能になる見込みで好転の兆し有り、売上増になる。当社は、7月～9月が一番生産売上高になるが電力削減の影響がどのような結果になるか分からない。当社の電力削減は、生産には問題がないのだが。
- 23/7～9月 は生産調整の様子、機種により。
- 得意先の生産海外へシフト、移管による受注減が始まり、今後の懸念大。
- 自動車関連は木金を休日としているが、自動車以外は土日なので休みがなくコストアップになる、また原材料の値上げもコストアップの要因。
- 自動車の部品調達が予想以上に回復しているので、生産停滞による売上低迷は早期脱出を図れそう。但し原材料高や政治の混迷が士気の低下につながる恐れ有り、気は緩められない毎日です。
- 東日本大震災の影響は少ない状態で推移している。国内は依然として原料高、海外品との競合に晒されコスト競争が厳しい。
- 7月より増産計画にあるが工数の不足については、間接部門の応援で対応する計画です。また、電力需要制御の一環で行われる土日操業で出勤が困難な場合は特別休暇の取得を計画する。
- 東日本大震災の影響大。先月県内の企業にアンケートを実施したところ、自動車関係は、ご存知の通り落ち込みが激しいが9～10月以降は元の生産に戻るとみている。売り上げは自動車にどれだけ依存しているかで、自動車分を回収できるのか、依存度により異なる。住宅や包装（ペットボトル）など特需で好転している企業もある。
- 円高動向。海外生産をしていますが材料を日本から取り寄せているために単価が\$であり、非常に大きな損失が発生している。
- 東日本大震災の影響が売上減少に表れている。
- 2011年4月度より三洋電機がパナソニック株の完全子会社化された事により従来の炊飯器の生産が2011年7月より約60%生産又掃除機の部品加工も0となり、各企業共に受注不振で非常に困っております。
- 需要材料価格等の先行き予測が難しいが予期せぬ大きな動きによって変動している。
- 中小企業の技術共有の場を設けて欲しい。
- 競合→韓国。日本製品より20%30%安、国策（国の支援大）
- 地震リスクの為海外に生産を移す、又は海外メーカーにおいて日本以外に調達先を求める事が日本の将来を大きく左右する問題点と思われる。



## 事務局レポート

### ■第315回 理事会議事録

1. 日時 平成23年7月14日(木)  
16時00分～16時45分
2. 場所 八重洲富士屋ホテル 3階「赤松」

#### 3. 出席者

大野 泰昭	大塚 一郎	佐藤 昭
池下 龍	鈴木 幸雄	竹下 富男
安達 七郎	白石 恵一	平塚 隆文
曾我部 上	大川 哲郎	上村 俊彦
長島 勝敏	齋藤 森作	飯高 一郎
福田 晴通	植田 好司	小松 幹也
関根 忠	森下 誠一	武田 久徳
岡村 文男	竹内 友義	高橋 廣

以上出席37名(理事総数 38名)  
長野美佐雄(井上雅博氏代理)  
(以上監事1名)

#### 4. 会長挨拶

会長をお引受し最初の理事会ですが、齋藤前会長のお考え(以下①～⑤)を踏襲していきたい。すなわち、①数の力は協会のパワーに繋がるため皆様の協力の下、会員増強運動を展開したい、②能力開発・技能向上は協会の柱であり引続き推進したい、③活性化を目指した支部の統合と活動の強化を重要な位置づけと考え、できるだけ支部会に参加し意見交換したい、④プラスチック製品業界のPR・地位向上のため、特許出願の相談・商品開発の相談等も手伝っていききたい、⑤震災関連など各種情報を発信していきたい。

本日は理事会終了後、先輩役員をお招きして納涼会を行うことから、円滑なご審議をお願いし挨拶とした。

#### 5. 議事録署名人

議長は、定款第31条2項により、上村俊彦理事、小松幹也理事を議事録署名人に指名し、了承された。



#### 6. 議 事

##### 議題1. 経過報告

- (1) 役員会等の開催
- |       |          |       |
|-------|----------|-------|
| 5月18日 | 第43回通常総会 | 上野精養軒 |
| 5月18日 | 第158回幹部会 | 上野精養軒 |
| 5月18日 | 第314回理事会 | 上野精養軒 |
- (2) 部会・委員会の開催
- ① 技能検定運営委員会
- |       |                  |     |
|-------|------------------|-----|
| 6月1日  | 前期検定 首席検定員・事務局会議 | 都技能 |
| 6月14日 | 水準調整会議           | 板橋校 |
| 6月18日 | 実技試験実施説明会        | 板橋校 |
- ② 能力開発推進委員会
- |           |                |              |
|-----------|----------------|--------------|
| 6月25, 26日 | 技能向上講座(学科コース)  | 以下技能向上講座は板橋校 |
| 7月2, 3日   | 技能向上講座(実技Aコース) |              |
| 7月5日      | 講師会議           | 東日本協会 会議室    |
| 7月9, 10日  | 技能向上講座(実技Bコース) |              |
- ③ 青年経営研究会(JPO)
- |       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 5月26日 | 役員会、定例会 | 東プラ基金会館 |
|-------|---------|---------|
- ④ 技能士会
- |       |    |     |
|-------|----|-----|
| 5月21日 | 総会 | 板橋校 |
|-------|----|-----|
- (3) 支部会等の開催
- |       |                 |           |
|-------|-----------------|-----------|
| 6月10日 | 新潟支部、新潟県プラ振興会総会 | 新潟県村杉温泉   |
| 6月24日 | 埼玉県プラ振興会総会      | さいたま市民会館  |
| 7月5日  | 墨東支部会           | 東武ホテルレバント |
- (4) 全日本プラ連合会
- |       |           |           |
|-------|-----------|-----------|
| 5月19日 | 技能検定推進委員会 | 八重洲富士屋ホテル |
| 6月9日  | 第50回 通常総会 |           |



名古屋国際ホテル  
翌日 親睦ゴルフコンペ(スプリング  
フィールド・カントリー倶楽部)

議題2. 会員の入会・退会承認の件

- (1) 退会の部
  - 正会員 3社
    - ①会社名 富士無線機材(株) (品川支部)
    - ②会社名 (有)太陽鉄琴研究所(墨東支部)
    - ③会社名 亀田工業(株) (墨東支部)
  - 賛助会員 1社
    - ①会社名 (株)トライボンジャパン
- (1) 入会の部
  - 正会員 1社
    - ①会社名 リプロントーワ(株) (都心支部)
    - 所在地 東京都中央区日本橋堀留町
    - 代表者 春日部 武
  - 賛助会員 2社
    - ①会社名 日本テクノ(株)
      - 所在地 東京都新宿区西新宿1-25-1
      - 代表者 馬本 英一
    - ②会社名 (株)牧野フライス製作所
      - 所在地 東京都目黒区中根2-3-19
      - 代表者 牧野 二郎

議題3. 理事の一部交代の件

新潟県プラスチック工業振興会の総会が6/10に開催され、会長以下役員改選されました。今回はその結果を受けて、下記の通り本部推薦理事の変更申出がありました。同振興会は2年毎に県内3地区が持ち回りで役員を務めて振興会の運営を行っているもの。

今回当番にあたる地区では、新潟支部の会員は不在のため、支部推薦理事の交代は無い。

定款15条-2に則り本日の理事会で承認を得るものである。但し、任期は第16条-2により前任者の残任期間とする。

支部名	変更後	変更前
新潟支部	—	長谷川宏志
新潟県プラスチック振興会	井口 孝司	笹川 秀則

議題4. 各部会・委員会構成、役割分担の件

配布資料11に基づき専務理事から説明。  
従来どおり7つの委員会、3つの部会プラス

2つの小部会について概略説明、役員改選が来年5月に予定され、今回は従来の組織を踏襲したい旨。

総務委員長は、前大野副会長が会長に就任したことから、大井副会長へ交代すること、会員委員長は大井副会長から佐藤副会長へ交代することを説明し了承された。

また、資料5にあるように2年後が創立50周年にあたり、来年の役員改選時には「50周年記念事業委員会(仮称)」を設置する必要があること等を説明した。

報告事項

- ① 会員アンケート調査結果について (資料3,4)、専務理事より概略について報告した。
- ② 本日の納涼会・出席者について別添の資料の通り。なお、協会相談役の白石氏、森田氏のお二人も17時からの納涼会に出席いただく。
- ③ 本部23/6月残高試算表  
4-6月期収支は前年と概ね同じ、△453千円、流動預金は前年比で約3百万円増加。
- ④ プラスチック産業の概況 (資料9)
- ⑤ その他日経記事ほか

■支部会開催等

【墨東支部会】

7月5日(火)、東武ホテル「レバント東京」で26名が参加し開催されました。大塚支部長からは、震災、原発事故、電力不足さらに円高等我々を取り巻く環境は悪いが、この困難をお互い頑張っ情報交換しながら乗り切っていくとの挨拶があり、本部からは専務理事が、震災以降の中部の車関連下請けの見通しや復興支援状況について報告を行い、その後、会員からは各自最近の状況について自己紹介し情報交換の輪を広げた。





平成二十三年

暑中お見舞い申し上げます



暑さ厳しい折柄  
皆様の御健勝を  
お祈り申し上げます

<p>旭モールディング株式会社</p> <p>代表取締役 福田晴通</p> <p>〒116-0012 東京都荒川区東尾久五-1-1 電話 〇三(五八五五)三五六〇</p>	<p>浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田修二</p> <p>〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1 TEL 0555-73-2831 FAX 0555-73-2832 URL: <a href="http://www.asama-gosei.jp">http://www.asama-gosei.jp</a> P-E-mail: <a href="mailto:shimach@poplar.ocn.ne.jp">shimach@poplar.ocn.ne.jp</a></p>	<p>株式会社アフター</p> <p>代表取締役社長 実方京一郎</p> <p>〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-5 TEL03(5537)1238 FAX03(5537)1236 URL: <a href="http://www.aftr.co.jp">http://www.aftr.co.jp</a> E-mail: <a href="mailto:info@aftr.co.jp">info@aftr.co.jp</a></p>
<p>株式会社荒川樹脂</p> <p>代表取締役 齋藤森作</p> <p>〒116-0002 東京都荒川区荒川五-1-39-12 電話 〇三(三八九二)五七二二(代)</p>	<p>株式会社イガラシコーカ</p> <p>代表取締役 五十嵐貞行</p> <p>創業八十六年 最古の歴史・最新の技術</p> <p>本社 〒213-0081 川崎市高津区宇奈根七-1-3 電話 〇四(八五〇)一七二七(代)</p>	<p>株式会社石黒製作所</p> <p>代表取締役社長 大野泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712 URL: <a href="http://www.pla-part.com/">http://www.pla-part.com/</a></p>
<p>enplas 株式会社エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048(253)3131(代) <a href="http://www.enplas.com">http://www.enplas.com</a></p>	<p>大塚産業株式会社</p> <p>代表取締役社長 原田裕司</p> <p>〒130-0005 東京都墨田区東駒形二-1-18-12 電話 〇三(三六二五)五六五二(代) FAX 〇三(三六二五)三二一六五</p>	<p>川澄化学工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 川野幸博</p> <p>〒108-0009 東京都港区港南二-1-15-12 品川インターシティB棟9階 電話 〇三(五七六九)二六〇〇</p>



 <p>先進技術とトータルシステムで貢献 <b>株式会社 カワタ</b></p> <p>代表取締役社長 <b>湯川 直人</b></p> <p>〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6 TEL 03-5645-7880(代)</p>	 <p>代表取締役 <b>工藤 哲夫</b></p> <p>〒174-0065 東京都板橋区若木三-15-13 電話 03-(3393-2222) 六三一-一</p> <p><b>工藤プラスチック工業株式会社</b></p>	<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗剤の製造販売</p>  <p><b>神戸合成株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>宮岡 督修</b></p> <p>本社：兵庫県小野市匠台10番地 TEL:(0794)64-7771(代) FAX:(0794)64-7772 URL:http://www.kobe-gosei.co.jp</p> 
<p>本社 〒111-0022 東京都台東区柳橋二-19-13 電話 03-(3863-3548) 三五八(代) FAX 03-(3863-3579)</p> <p>代表取締役社長 <b>平塚 隆文</b></p>  <p><b>株式会社 三光社</b></p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p>  <p><b>白石工業株式会社</b></p> <p>代表取締役会長 <b>白石 恵一</b> 代表取締役社長 <b>白石 創士</b></p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301(代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>	<p>〒277-0814 千葉県柏市正連寺九〇</p> <p>取締役会長 <b>曾我部 新上</b> 代表取締役 <b>曾我部 大上</b></p>  <p><b>株式会社 新上</b></p>
<p><b>STAR</b></p> <p>関東支店 支店長 <b>三浦 基</b></p>  <p><b>株式会社 スター精機</b></p> <p>関東支店 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町3241 電話 0283-24-8211 FAX 0283-24-5687 東京営業所 03-5615-3925 仙台営業所 022-249-4691 神奈川営業所 046-400-7161 新潟営業所 025-287-5081 甲信営業所 0268-51-5230</p>	 <p>業務用調理機器</p> <p><b>株式会社 千葉工業所</b></p> <p>代表取締役 <b>長島 勝敏</b></p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 TEL 047-438-3411(代) FAX 047-438-3413 e-mail:peels@chiba-ind.co.jp URL:http://www.chiba-ind.co.jp</p>	<p>〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台一-129-13 電話 0421-(7774) 八九一-一</p> <p>代表取締役 <b>生倉 茂</b></p>  <p><b>セイチョー工業株式会社</b></p>
<p>〒134-0083 東京都江戸川区中葛西七-26-19 電話 03-(3675) 二七三一</p> <p>代表取締役 <b>奥山 英明</b></p> <p><b>拓水工業株式会社</b></p>	<p>Human Chemistry, Human Solutions <b>TEIJIN</b></p>  <p><b>帝人化成株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>酒井 和幸</b></p> <p>〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1(霞が関コモンゲート西館) 電話03(3506)4771 FAX03(3506)4760</p>	

平成二十三年

暑中お見舞い申し上げます





平成二十三年

暑中お見舞い申し上げます



<p><b>TECHNO</b> テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 <b>野本 義三</b></p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoseiko.com/ E-mail:info@technoseiko.com</p>	<p> <b>東ベ化工株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>佐渡谷 修 治</b></p> <p>〒143-0002 東京都大田区城南島4丁目5番2号 電話 03-5755-6601 FAX 03-5755-6606</p>	<p>長野県プラスチック工業会</p> <p>会長 <b>榎 山 徹</b></p> <p>〒380-0035 長野市中御所一丁目二〇一 裾花ビル二階 FAX 電話 〇二二六(二二二六)一五六一 〇二二六(二二二六)六一六一</p>
<p> <b>株式会社 日新化成</b></p> <p>代表取締役社長 <b>小 松 幹 也</b></p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>おかげさまで70周年</p> <p> <b>日本プラスチック工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>浅見好邦</b></p> <p>本 社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) FAX 03(3807)8653番 携帯 090(3404)8213番 FAX 03(3807)8664番(直通)</p> <p>さいたま工場 埼玉県さいたま市見沼区宮ヶ谷塔3丁目349番地 〒337-0011 電話 048(683)7281番(代表) FAX 048(683)7282番 http://www.nippla-web.co.jp E-mail:info@nippla-web.co.jp</p> <p>関連会社 北京東潤中天商貿有限責任公司・青島上青包装材料有限公司 康盛福(厦門)生物科技有限公司・濟南飞潤經貿有限公司</p>	
<p>電 話 静岡県浜松市北区新都田一丁目二二 〒431-2103 〇五三(四八四)一二七一</p> <p>取締役社長 <b>森 川 厚 孝</b></p> <p> <b>日本ビニロン株式会社</b></p>	<p> <b>信川化学工業株式会社</b></p> <p>取締役社長 <b>信 川 仁 道</b></p> <p>本 社 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸2-20-18 電話 03(3697)6246</p> <p>石岡工場 〒315-0002 茨城県石岡市柏原18-1 電話 0299(23)7181(代)</p>	<p><b>HARMO</b> 株式会社 <b>ハーモ</b></p> <p>代表取締役社長 <b>濱 秀 明</b></p> <p>電 話 長野県上伊那郡南箕輪村四丁目二四 〒389-4305 〇二六五(七二二)〇一一一</p>
<p>電 話 茨城県稲敷市幸田六七七 〒300-0605 〇二九九(七九九)二三二四</p> <p>代表取締役 <b>池 下 龍 一 郎</b></p> <p> <b>ニップラスチック株式会社</b></p>	<p>電 話 東京都大田区京浜島二丁目一四 〒143-0003 〇三(三七九〇)一〇三一</p> <p>代表取締役 <b>内 藤 雅 文</b></p> <p><b>平和工業株式会社</b></p>	<p> <b>株式会社 ホーライ</b></p> <p>代表取締役 <b>鈴 木 雅 之</b></p> <p>電 話 東大阪市高井田本通り二丁目三十一 〒850-0021 〇六(六七八二)二二八一</p>



 <p><b>株式会社 松井製作所</b> 代表取締役社長 松井 宏信</p> <p>〒171-0014 東京都豊島区池袋2-43-1 青柳ビル11F tel:03-5992-3191(代) fax:03-5992-2910 http://www.matsui-mfg.net/</p>	 <p><b>丸工化学株式会社</b> 代表取締役会長 工藤 郁 代表取締役社長 南 広行</p> <p>〒124-0003 東京都葛飾区東立石一丁目二八 電話 03(3696)3905(代) FAX 03(3696)3970</p>	 <p><b>株式会社 メイナン</b> 代表取締役 金子 玲子</p> <p>〒260-0842 千葉県千葉市中央区南町1-4-46 TEL 043-265-1004 URL:http://www.meinan.bz</p>												
 <p><b>株式会社リーデンス</b> 代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>	 <p><b>山下電気株式会社</b> 代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03)3740-2401 URL:http://www.yamashita-denki.co.jp</p>	 <p>増田 英輔 代表取締役社長 <b>山宗株式会社 関東事業部</b></p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>												
 <p>代表取締役社長 原 信郎</p> <p>〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-4 ミヤコビル 電話 03 (3295) 7061 FAX 03 (3295) 9450 支店：東日本・西日本・中部 営業所：仙台・長野・富山・福岡 URL http://www.ypk.jp</p>	 <p>東プラ健保に加入して 福利厚生充実を！</p> <p>東日本プラスチック健康保険組合 理事長 小田 切 常務理事 植田 秀一 満寿雄</p> <p>〒111-0052 東京都台東区柳橋一丁目一四 電話 03(3386)1051(代)</p>	<p>東日本プラスチック製品工業協同組合 理事長 滝口 裕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作業ユニフォーム等の斡旋</li> <li>○医療共済保険</li> <li>○ETCカード</li> <li>○廃プラ事業</li> </ul> <p>ご用命は下記へ。</p> <p>事務局 (高橋) TEL 03-3541-4321 FAX 03-3541-4324</p>												
<p align="center"><b>全日本プラスチック製品工業連合会</b></p> <table border="0"> <tr> <td>会 長</td> <td>五十嵐 明 迪</td> </tr> <tr> <td>副 会 長</td> <td>大野 泰 昭</td> </tr> <tr> <td>副 会 長</td> <td>飯高 章 裕</td> </tr> <tr> <td>副 会 長</td> <td>後藤 鉦一郎</td> </tr> <tr> <td>副 会 長</td> <td>原 襄 輔</td> </tr> <tr> <td>専務理事</td> <td>高 橋 廣</td> </tr> </table> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL http://www.jppf.gr.jp</p>			会 長	五十嵐 明 迪	副 会 長	大野 泰 昭	副 会 長	飯高 章 裕	副 会 長	後藤 鉦一郎	副 会 長	原 襄 輔	専務理事	高 橋 廣
会 長	五十嵐 明 迪													
副 会 長	大野 泰 昭													
副 会 長	飯高 章 裕													
副 会 長	後藤 鉦一郎													
副 会 長	原 襄 輔													
専務理事	高 橋 廣													

平成二十三年

暑中お見舞い申し上げます

